

THE!

ロンドン London 観光

松永 健聖

一生に一度は行ってみたいロンドン!!今回は、ビッグ・ベンと大英博物館について紹介します。

国会議事堂(ビッグ・ベン)

10世紀に基礎が築かれた宮殿は世界初の議会制政治の始まりとなった場所



議会制政治の始まりとなった場所である国会議事堂は、10世紀サクソン人のエドワード懺悔王(在位 1042-1066)によって、テムズ川を利用した物流に便利なこの場所にウェストミンスター寺院とともに建設された。ウェストミンスター宮殿として建てられ、1512年の大火によって、ヘ

ンリー8世がホワイトホール宮殿へ移り住むまで、多くの国王達がここを居城としています。13世紀半ばになると各州から騎士が集り(後のジェントリーと呼ばれる騎士候補者層「バachelars」)、14世紀に入ると彼らは地方の州を代表する「州騎士(ナイト・オブ・シャイア)」や都市を代表する市民グループと呼ばれ、貴族院に対して庶民院の議員となり、ここに二院制議会が始まります。その後、国会議事堂は、議会としてだけでなく、法廷としても利用されるようになりました。

1834年の火災

ストーブの過熱によって起きた火災では、聖ステファン・チャペル、ウェストminster・ホール、ジュエル・タワー以外の宮殿の大半が消失。そこで宮殿の再建を協議する王立委員会が設けられ、キリスト教に基づいて好ましいとされるゴシック様式のデザインで提案したチャールズ・ベリー案が採用されました。1840年から建設が開始され、30年の年月をかけて現在の形となり、イギリスを代表とするゴシック建築のひとつになったのです。

ウェストminster・ホール

壁は1097年に建てられたもので、ヨーロッパで最も古いホールのひとつ。14世紀には広範囲に渡って再建されました。ここは古くから、法廷としても利用され、チャールズ1世の死刑判決(1649年)などの



重要な判決もここで言い渡されています。今日では、エリザベス女王の即位50年など、王家に関わる式典に利用されています。

ビッグ・ベン

南に聳え立つヴィクトリア・タワーに対し、人気があるのは大きな時計が目印で、高さ96.3mのクロック・タワー。「ビッグ・ベン」の愛称で親しまれるこの時計台は、建設責任者であったベンジャミン・ホール卿の名前から呼ばれるようになったという説がありますが、本当のところは謎です。



大英博物館

180 万年前から現代までの世界文化を網羅 世界最大規模のコレクションを収蔵する博物館

世界中の文化遺産、美術品を収蔵する世界最大級の博物館。180 万年前から現在までの文化を網羅する遺物を展示し、その数はおよそ 600 万点。

この大英博物館所蔵物の礎となったのは、高名な医師で自然学者でもあったハンス・スローン卿のコレクション。彼の 8 万点の遺物、植物採集見本、書籍等は、娘達を受取人として、ジョージ 2 世に 2 万ポンドで遺贈されました。それを受け、英国議会では 1753 年までに大英博物館法を通過させ、宝くじによって調達した資金を英国議会が拠出することによってそれらのコレクションは博物館に所蔵されることになりました。博物館は英国議会の直属の管財人委員会によって運営され、所蔵物は国家財産であり、入館無料で全ての人に公開されています。

主な見所

エジプト・コレクション

大英博物館といえばエジプト・コレクションというほど、カイロに次いで、素晴らしいコレクションが展示されており、王朝統治時代以前(紀元前 4000 年)から、コプト(キリスト教)時代(12 世紀)までの文化遺産を見ることができます。

一番の見所は、「ロゼッタ・ストーン (Room4)」と呼ばれる石碑。1799 年にナポレオン軍によってナイルの西デルタで発見されたこの象形文字が記された石は、



紀元前 196 年のプレトマイオス 5 世の時代の法令が記されています。エジプト象形文字が使用されなくなってから 1400 年後の 19 世紀初頭、象形文字解読が遂げられる重大な鍵となった一品です。その貴重な遺物だけに、第一次世界大戦時は、戦火を逃れるため、深い地下に隠されていたというほどです。

(左)ロゼッタ・ストーン。象形文字解読の鍵となった、博物館で最も人気のコレクション。

(右)エジプトのファラオの中で最も強い権力を持って統治したと言われる「ラムセス 2 世」の像。

また、7トンを超える「ラムセス 2 世 (Room 4)」石像も目を引くコレクション。エジプトのファラオの中で、67 年間もの長い間エジプトを統治し、最も力のあった人物と言われているラムセス 2 世は、世界遺産となったアブ・シンベル神殿を建築させた王としても有名です。この像は、紀元前 1250 年頃に造られたものとみられています。



古代エジプトの遺物の中で、ミイラは当時の生活を伺うことができる大切な資料ですが、ここには紀元前 3400 年頃のミイラ (Room 64) が保存されています。それはミイラの技術がまだ進化する前のもので、熱い砂漠の砂が人間の水分を吸い、バクテリアさえも生きられない状態にして身体の形の破損を防ぐという手法を取ったもの。棺には、土器や宝石が供えられています。

ギリシャ・コレクション/ローマ・コレクション

青銅器時代初期以降のギリシャ世界、青銅器時代以降のイタリアおよびローマ、ローマ帝国全域の品々が展示されています。

ギリシャ・コレクションにある、紀元前 432 年に偉大な芸術家フィディアスとイクティノス等によって設計されたアテナ女神のためのドーリス式建築物「パルテノン神殿」の彫刻は優美で繊細。流動的な迫力のある「エルギン・マーブルズ (Room 18)」と呼ばれるこれらの彫刻は、エルギン卿により持ち帰られたもので、神々の姿を力強く表現した「三女神像」や、



このコーナーのシンボルのように愛される「馬頭の石像」などが有名です。それらの彫刻の当時の姿は、カラフルな色彩を放っていたものもあり、アテネがポリスとして黄金期を迎えた頃のギリシャ文明の技術の高さを測り知ることができます。

陶器のウェッジウッドを思い起こすデザインの水瓶「ポートランドの花瓶 (Room 18)」は、ローマ帝国時代の 5-25 年にウェディング・ギフトとして造られたと思われるカメオ・グラス。所有者であったポートランド伯爵はこの花瓶を、ジョサイア・ウェッジウッドに貸し出し、そこからインスパイアされてできたのが人気のデザイン「ジャスパー」。このような花瓶は、ポンペイから出土しています。

民俗学コレクション

17 世紀イギリスの探検家でハワイ諸島を発見したキャプテン・クックや 18 世紀にカナダ地域を探検したイギリス探検家キャプテン・バンクーバー等が太平洋地域や米大陸北西海岸地域から持ち帰ったコレクションをはじめ、アフリカ、中東、東欧、オセアニア、アメリカ大陸の土着文化を紹介するコレクションです。

古代近東コレクション



古代近東コレクションでは、チグリス川に栄えたメソポタミア文明の遺物に触れることができます。古代王国アッシリアの王「サルゴン 2 世」の建てさせた「コルサバド宮殿のレリーフ (Room 10)」は見所です。国家儀式、王候たちの狩猟や戦争の様子を描いており、当時の様子を伺うことができます。また、「ウイングド・ブル

の石像 (Room 10)」は、宮殿の門に魔よけとして設置された巨大な石像で、人間の顔を持った雄牛が、外敵から宮殿を守るように堂々とした姿で構えています。

2 羽のグリフィン (ワシの上半身とライオンの下半身を持つ想像上の生き物) が形取られた豪華な金のブレスレットは、アケメネス朝ペルシャ宮廷の財宝のひとつです。これは紀元前 5-4 世紀頃のもので、オクサス財宝と呼ばれ、世界文化遺産に

指定されているイランの「ペルセポリス遺跡」のレリーフにとてもよく似た文様が特徴です。

グレート・コート



イギリスの有名なきゅうりビル「ガーキン」や「ミレニアム・ブリッジ」で著名なイギリスの建築家ノーマン・フォスターの設計による多目的ホール。近代的なストラクチャーでありながらも室内の風景は、かつての閲覧室の厳粛な雰囲気そのまま保っており、新旧の融合が不思議な調和をもたらす空間です。ここには、ミュージアム・ショップやレストラン、カフェなどがあり、ゆっくりと寛ぐことのできる場所です。

ガイド・ツアー

①ハイライト・ツアー

ハイライト・ツアー。ロゼッタ・ストーンやパルテノン神殿、古代世界七不思議のひとつハリカリナツソスの廟墓やサットン・フーで発見された船型埋蔵遺物「ジンジャー」などの有名な展示物を、ブルーバッヂを持つガイドの説明を聞きながら回ります。

【ツアー開始時間】月-日 10:30pm 1pm 3pm 所要時間は 90 分

【料金】大人 £8、学生及び 12 歳以下、博物館友の会会員 £5

【予約】チケット・デスクまたはグレートコート・インフォメーション・デスクにて予約が可能。電話(020-7323-8181)による予約も可。10名以上もしくは外国語によるツアー申し込みは Tel:020-7323-8656 email:goups@thebritishmuseum.ac.uk

②アイ・オープナー

ギャラリー別のボランティアによる無料ガイド。英語のみ。

【所要時間】50-60 分

③オーディオ・ツアー

ハイライト 49 点を、2 時間程度でマイペースに回れるツアー。日本語あり。(パルテノン神殿彫刻のみ各国語ガイドあり。貸し出しはパルテノン・ギャラリー入口

£3.50)

【所要時間】90 分-

【料金】£3.50 チケット・デスクもしくはグレートコート・インフォメーション・デスクで借りることができます。

HP: <http://www.thebritishmuseum.ac.uk>(日本語ページあり)

category: 博物館

station: Holborn, Tottenham Court Road, Russell Square, Goodge Street

ticket: 無料(特別展は除く。特別展のチケットは、ネットで購入も可)

open:土-水 10am-5:30pm, 木-金 10am-8:30pm 木・金のレイトナイトは展示によってクローズされます。(1/1、イースター前の聖金曜、12/24-26 は休館)

所要時間:1-5 時間

付近のオススメレストラン:

Hakkasan

チャイニーズ(£15-)

ミシュランに選ばれたモダン・チャイニーズ

料理・雰囲気・サービスの 3 拍子揃って納得

Bertorelli

イタリアン(£20-25)

90 年以上続くレストランの自慢は、

コンテストで受賞したジェラート